

2022年



# いけだ小児科 病児保育だより



新年度が始まってから、早半年、あっという間にもう10月ですね。

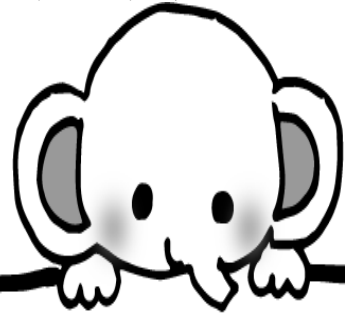
食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋…楽しみの多い季節がやってきました。

朝晩の気温差が大きい季節でもあるので、衣類の調節はこまめにし、健康面には十分に気をつけていきたいですね。

これからインフルエンザが流行する時期に入っていきます。手洗いうがいを行い感染予防をしましょう。

## インフルエンザってなに？

- ・ ウイルスにはA、B、及びCの3型があります。
- ・ 毎年11月下旬～12月上旬頃に始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加し、4～5月にかけて減少していくパターンを示しますが、夏季に患者が発生することもあります。
- ・ 流行の程度とピークの時期はその年によって異なります。
- ・ **★潜伏期間と症状★**
- ・ 感染して1～3日間ほどの潜伏期間後に、悪寒、頭痛、咽頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などを伴って発熱（通常38℃以上の高熱）、約1週間の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザです。
- ・ 嘔吐、下痢の消化器症状もしばしば見られます。
- ・ 発熱は1～5日続き、その後一旦下がった熱がぶり返すこともあります。咳や鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、解熱後に悪化しやすい傾向があります。
- ・ **★診断★**
- ・ 鼻汁の迅速テストで約1～10分で判定されますが、発熱して8時間くらい経過しないと正確な診断はできないとされています。
- ・ **★治療★**
- ・ 近年、タミフルやリレンザ等の抗ウイルス薬が開発され、実際に使用することが可能になりました。
- ・ **★出席停止のめやす★**
- ・ 小学生以上では発症を0日として5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児は3日）経過していることが条件です。
- ・ **★予防★**
- ・ 基本的に流行期に人込みを避けること、マスクを着用すること、外出後のうがいや手洗いを励行が大切です。



**【予防接種】**毎年10月～12月に13才以下は1～4週間隔（2～4週間隔が推奨）で2回接種します。接種してから効果がでるまで2週間かかります。

インフルエンザワクチンは不活化ワクチンです。感染や発症そのものを完全には防御できませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されています。

また、今年は南半球での流行が報告されていることから日本での流行も心配されています。

過去2年間集団免疫が低下していると考えられる為、大きな流行となる恐れがあるので注意しましょう。



- 9月に利用された方の病気
- ・ 気管支炎
  - ・ RSウイルス
  - ・ 急性上気道炎
  - ・ 急性咽頭炎
  - ・ クループ
  - ・ 喘息発作

いけだ小児科病児保育室

TEL:080-8587-6253

